

日本鐵鋼協會記事

◎評議員會

大正六年十一月十九日午後五時より本會假事務所に於て評議員會を開く當日出席者は

野呂景義、種子田右八郎、門野重九郎

以上の三氏にして定數に達せざるを以て左の議題に就て協議をなし追て評議員會の承認を求むる事として散會せり。

一、米鐵輸出禁止問題に關聯する各學會より選出せる委員の自給策に關する意見書を其筋に提出する件

一、工學會より提議の別項協議事項に關する件

右に關する委員とし當協會より野呂會長出席すること

大正六年十一月八日帝國鐵道協會に於ける各學、協會長會合協議錄

出席者

土木學會々々長 野村龍太郎君

造船協會々々長代理 今岡純一郎君

建築學會々々長 辰野金吾君

機械學會幹事長 田中富士太君

日本鐵鋼協會々々長 野呂景義君

電氣學會々々長 大井才太郎君

工業化學會々々長 鴨居武君

火兵學會委員長代理 楠瀬熊治君
外日本鑛業會々々長渡邊渡君御出席の善の處都合に依り缺席

工學會々々長 古市公威君

副會長 辰野金吾君

主事 玉木辨太郎君

同 加茂正雄君

同 近藤仙太郎君

同 用瀬松太郎君

協議事項

一、エンジニアリング、スタンダード、コミッティー組織の件

一、工業教育制度の調査の件

一、戰後に於ける日本工業發展策に關する調査の件

右問題に就て古市工學會長より提議の主旨を述べ次て加茂正雄君より「エンジニアリング、スタンダード」に關する説明及野呂外諸君の意見交換あり左の通り協定ありたり。

一、協議事項の主旨は全部賛成のこと

但「戰後に於ける日本」の文字を削除すること

一、調査方針を定むる爲め準備委員を設くる事とし右學、協會より一名づゝ選出し本月中に工學會に通知すること

一、本日會合を求めたる學、協會長の外に左の學、協會を追加すること

(一)帝國鐵道協會

野村龍太郎君より本件賛成を求め準備委員一名を選出し本月中に工學會に通知すること

(二)電信電話學會 (三)照明學會

大井才太郎君より前同斷

(三)暖房冷蔵協會

加茂正雄君より前同斷

◎編輯會

大正六年十一月十四日午後五時より本會假事務所に於て編輯會を開き會誌第三年第拾壹號の原稿を選定せり

當日出席者は

石黒豊、井上克巳、室井嘉治馬、川上義弘の四氏なり

○入退會者

前號報告後入退會を承認せる會員左の如し

◎入會者 (住所及職業)

東京市麹町區八重州町一ノ一	鋼鐵鑛石機械輸出入業	正會員	福井國太郎
東京市橋區南傳馬町一ノ二	日本鋼鐵株式會社代表者	同	大島居奔三
東京市本郷區千駄木町五八	東京高等工業學校助教	同	福原達三
東京小石川西原町二ノ四〇	東京工科大学教授工學博士	同	井口在屋
北海道室蘭日本製鋼所	日本製鋼所技師	同	尾花信
東京市麹町區有樂町一ノ四	鐵合金製造業	同	東北電化株式會社
南滿州撫順炭坑機械課	南滿鐵道株式會社	准會員	奥山丸乙
吳市濱田町二ノ十六	海軍技手	准會員	沖信治
吳市本通四丁目八番戸	海軍技手	同	古林卯三郎

日本鐵鋼協會記事

廣島市平塚町一八三	陸軍砲兵中佐	同	山下完二
下關市西南部町丸光商會		同	小泉哲三
神戸市兵庫東尻池村川崎造船所兵庫工場分折室		同	親和會
神戸市川崎造船所兵庫工場	川崎造船所員	同	勝目信之

◎轉居 (新住所左の如し)

東京市小石川區竹早町一二二	前田一
島根縣飯石郡吉田町	菅野半三郎
東京市深川區千田町六〇八	中野三夫
東京市日本橋區箱崎町二ノ二	大藤良雄
東京市外濫谷六一四	德永格
東京市麻布區霞町一	吉田正心
兵庫縣灘河原村	村橋素吉
名古屋市熱田電氣製鋼所	中野弘策
東京市小石川區小日向臺町一ノ五四	佐藤耕夫
大阪府豐郡池田町室町五番丁	武谷金助
東京市小石川區大塚町六八	小山磐
東京市京橋區三十間堀小布施工業所	小布施順次郎
東京市本郷區千駄木町四八	西尾銑次郎
東京市外戸塚町字源兵衛十八	玉村勇助
福岡縣小倉市堺町九〇	高柳錠太郎

住居不明

左記の會員住居不明に付御存の方は御一報願上候

退會者

金澤 櫻平	安川秀信	門野四郎
准會員 大熊尙次	同	宇數眞鋤
同 内山福造	同	有高光郎
同 赤穂茂治	同	米本榮
同 中村延太郎	正會員	齋藤新太郎
准會員 伊部爲久	同	古野茂兵衛
同 鎌田政一		